

酪農ヘルパー利用組合への支援を進めてまいります。

酪農家の担い手の育成と確保については、幌延町農業協同組合や関係機関、団体と共同で「幌延町酪農担い手育成センター」を組織して、総合的な担い手対策を推進いたします。

安全な食料を供給するために、良質の牛乳生産が求められており、引き続き、乳牛検定組合・生乳成分検査事業及び乳質改善に必要な事業への支援を進めます。

森林の有する国土保全、水源涵養及び自然環境の保全等多面的機能を増進するため、町有林は基より民有林整備を図るとともに、森林基幹道雄興間寒別線、森林管理道上幌延線開設事業等の林道網の整備を進めます。また、森林の荒廃防止のため、森林所有者等による計画的な森林施業が適切に行われるよう、「森林整備

地域活動支援事業」を実施いたします。

商工業については、地元購買力の流出や公共事業の抑制等で、これまでにない厳しい状況の中で、それぞれ創意工夫をこらして鋭意努力されていることと認識しております。商店街の活性化については、幌延駅前通り再開発

事業の道路整備が完了し、商店の皆さんが近代化に取り組みやすいように、「商業振興店舗近代化促進事業補助制度」を継続するとともに、併せて、昨年増枠いたしました

「中小企業振興資金貸付金」についても継続してまいります。

建設業につきましては、入札制度の透明性確保のため、電子入札制度の導入が急務となっており、関係機関と協議し、人材育成に協力してまいります。

トナカイ観光牧場については、依然として目標とした実績を上げること

が困難な状況であります。また、今年度からレストラン及び売店の部門をテナント方式とし、効率的な運営を実施し、補填財源の削減を図ってまいります。更に、今後の推移を見極め将来に向けて民間への一括委託の可能性を探ります。

また、花卉栽培事業は、



規模を縮小してトナカイ観光牧場の見本園において栽培し、観光振興推進事業の一環として進めてまいります。

幌延深地層研究センターの施設建設については、計画どおり昨年7月に造成工事が着工されました。今後は、地下施設を利用する様々な試験・研究が、この地域で行われます。施設建設が地域

振興に結びつくよう、関係機関に対し要請するとともに、施設立地に伴う電源三法交付金の活用方法についても、将来の財政見通しを考慮しながら、慎重に検討してまいります。

昨年開所いたしました「幌延地圏環境研究所」については、今後の研究活動が、酪農などの発展や生活環境の向上、地元商工業の活性化に寄与することを期待するとともに、研究事業の運営について支援してまいります。風力発電プロジェクト

については、昨年2月の本格的な営業運転開始後は順調に稼働を続けており、幌延風力発電株式会社には、今後も安定供給と経営の効率化を要請してまいります。

第三は、「明るく健康な暮らしを進める」施策であります。

子供も高齢者も、障害のある方もない方も、完全に安心して暮らせることが望まれています。自分のことは自分の力で解決する「自立、自助」を基本に、個人や家族の力で解決できないものは、地域や職場で力を出し合う「共助」や、国や行政の力による「公助」が上手に機能することによって「明るい健康な暮らし」が実現されます。

地域社会の「公助」の推進主体であります社会福祉協議会の機能強化を図るとともに、福祉活動